

益城町震災復興に関する体験型見学会（エクスカージョン）のご案内

2016年熊本地震において益城町では甚大な被害が生じました。被災地では、現在も様々な復興事業が行われていますが、被災前の生活を取り戻すには長い時間がかかると思われます。（一社）日本建築学会九州支部では、発災直後に益城町での被害調査を行いました。被災後3年が経過した今、現状と課題を調査するためのエクスカージョンを企画しました。

本企画では、益城町の復興に関わる専門家の説明を受けながら視察を行い、被災地の現在の姿と復興の課題を調査します。また、参加者と益城町の行政職員、専門家との意見交換の場を設け、被災後の復興に資する知見、発災直後の学術的被害調査に関する課題についてざっくばらんに語り合います。

関心をお持ちの方がおられましたら、お誘いあわせの上、奮ってご参加ください。

記

日時：2019年11月25日（月）10:00～17:00

集合・解散場所：JR熊本駅（新幹線口）

参加人数：20名まで（申し込み先着順）

参加費：無料（集合場所（JR熊本駅）までは各自でお越しく下さい）

※ JR熊本駅から現地まではマイクロバスを手配します。昼食代は無料です。

申込〆切：2019年10月31日（木）

問合せ先：熊本大学 友清衣利子（mail: tomokiyo@arch.kumamoto-u.ac.jp）

スケジュール

10:00 JR熊本駅（新幹線口）集合

11:00～14:00 復興まちあるき（コースは別紙の通りです）

※ 益城町で復興に関わる中村哲様にご案内いただきます。途中で昼食をとります。

14:00～16:00 意見交換会 会場：益城町交流情報センター（ミナテラス）会議室（予定）

【テーマ1】 現在、そして今後の益城町～調査研究成果を復興に活かすために

・今後のまちづくりに関する課題

【テーマ2】 当時を振り返って～被災地に寄り添った被害調査のあり方とは

・研究者・技術者の現地被害調査への行政の対応

※ パネリストとして、現在の益城町復興整備課ご担当者、発災当時の益城町担当課ご担当者をお招きする予定です。

17:00 JR熊本駅（新幹線口）到着・解散

復興まちあるきコース(案)

※ 約 3 km (下り坂) のコースです。

木山仮設団地にて下車

- ①木山仮設団地 (仮設住宅での暮らし) →②役場仮設庁舎 (経由)
- ③木山災害公営住宅 (役場仮設庁舎南側) の工事現場見学 →④宅地擁壁復旧箇所見学
- ⑤木山災害公営住宅 (輝らめき館跡) 工事現場見学 →⑥役場庁舎建設予定地見学
- ⑦仮設商店街見学 →⑧文化会館復旧工事見学 →⑨木山区画整理予定地区見学
- ⑩災害公営住宅 (宮園) →⑪木山神宮復旧工事現場見学 →⑫ましきラボ見学
- ⑬益城町総合体育館 (経由) →⑭ミナテラス到着 (杭頭補修工事見学)
- ⑮福田の災害公営住宅 (マイクロバス移動)

